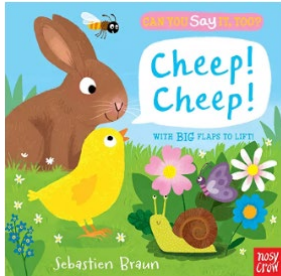


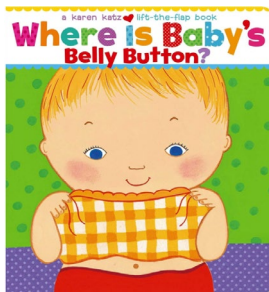
Rhymoe[®]の選ぶ英語絵本 (0-1歳向け)

0-1歳ではママやパパに抱っこされたり、おひざの上ののったりして、初めて英語の音を絵とともに楽しむ時期。英語絵本が初めての保護者でも読みやすいもの、赤ちゃんが目で楽しめる絵、そして赤ちゃんが集中力を保てる程度の長さを基準に選びました。



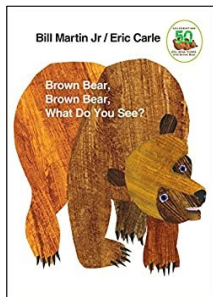
Can You Say It, Too? Cheep! Cheep! (Sebastian Braun)

ひよこ、うさぎなど春の動物たちが次々に登場します。フリップをめくって動物を見つけましょう。そして一緒に鳴き声を真似してみましょう！



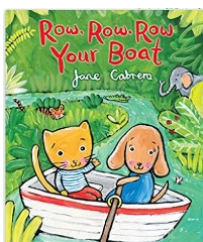
Where is Baby's Belly Button? (Karen Katz)

あかちゃんのおめめはどこ？ おくちはどこ？ シンプルなしかけをめくってさがしてみよう！ いらないないばあが大好きなベビーちゃんと、からだのたんけん遊びができる、かわいいうれあひ絵本です。知らず知らずのうちに、“Under”や“Behind”などの前置詞の感覚もつかめてくるでしょう。



Brown Bear, Brown Bear, What Do you See? (Bill Martin Jr. / Eric Carle)

エリックカールの名作絵本の一つ。“Brown bear, brown bear, what do you see ? ” “I see a red bird looking at me”というフレーズが、次々に現れる動物とともに繰り返し現れます。そのリズムの心地よさと、エリックカールのカラフルなイラストを楽しみましょう。



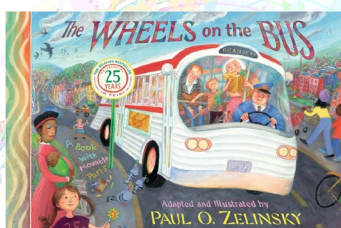
Row row row your boat (Jane Cabrera)

みんながよく知っているボートの歌。イヌくん、ネコちゃんと一緒に、ボートに乗って川を下ろう。ネズミ、サル、ワニ...いろんな動物が出てくるよ。歌を口ずさみながら読んでいうちに、川下りを楽しんでいる気分になれる絵本です。



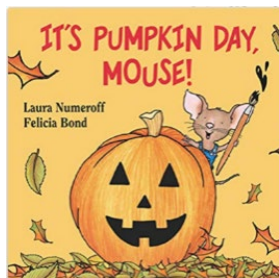
Little White Fish (Guido van Genechten)

ちいさな白いおさかなくんが、海の中でママを探しています。カニやヒトデに出会うけど、みんなママじゃないっていうよ...ママは見つかるかな？ シンプルでカラフルなイラストが、とってもかわいい絵本です。



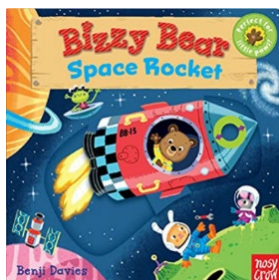
Wheels on the bus (Paul O. Zelinsky)

おなじみのバスの歌を題材にした絵本は多数ありますが、こちらが一番のおすすめ。レトロなイラストと、紙製なのに精巧なしかけで楽しめます。イラストのところどころに歌詞が書いてあるので、探してみましょう！



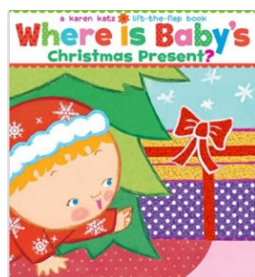
It's Pumpkin Day, Mouse! (Laura Numeroff)

ハロウィンが近づいてきたよ。かぼちゃを用意して、ランタン (Jack-o-lantern) を作ろう。笑った顔、怒った顔、いろんな顔があるね！
シンプルで短いお話を通して、happy, sad, angry, scaryなど、感情に関する表現に触れることができます。



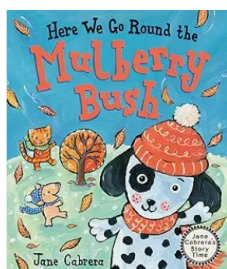
Bizzy Bear Space Rocket (Benji Davis)

クマが友達といっしょにロケットに乗って月に行くよ！
一緒に数えよう。5,4,3,2,1... BLAST OFF!!
動気が生き生きと感ぜられるしかけがとても楽しい絵本。
Bizzy Bearの絵本は邦題「くまくまくん」シリーズとして人気があります。他にも、消防車、救急車、飛行機、はたらくくるま...など、いろいろありますよ！



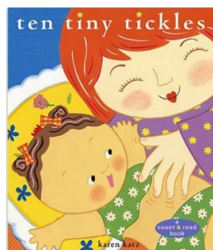
Where is baby's Christmas present? (Karen Katz)

赤ちゃんのプレゼントはどこにあるかな？クリスマスツリーの後ろ？くつしたの中？赤ちゃんといっしょにクリスマスプレゼントを探して、仕掛けをめくってみよう！
"Where is baby's?"シリーズは他にもいろいろあっておすすめです。



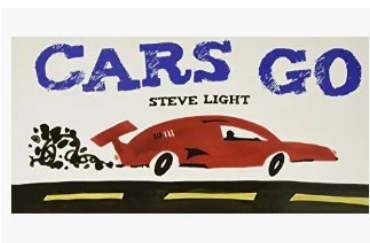
Here We Go Around the Mulberry Bush (Jane Cabrera)

朝になったら、はをみがいて、おきがえをして、おでかけをして、おうちにかえたら、お風呂に入って、ベッドで寝よう。そんな一日のルーティーンが、歌って楽しい "Mulberry Bush" の童謡のフレーズと共に描かれています。



Ten Tiny Tickles (Karen Katz)

Tickleとは「つつん、こちょこちょする」という意味。ママが赤ちゃんをくすぐります。1回...2回...いろんなシチュエーションでたくさん赤ちゃんをコチョコチョしましょう！
他にも "Mommy Hugs" や "Counting Kisses" もおすすめです！



Cars Go (Steve Light)

パトカーはどんな音を出して走る？赤いレースカーは？トラックは？
たくさん車の擬音語が登場します。
欧米人って、こんな風に音を聞くだ！と大人もびっくりする、楽しい本です。
シリーズ第1作目の "Trains Go" もおすすめ。

Rhymoe[®] が選ぶ英語絵本36冊

0-1歳向け / 2-3歳向け / 4-5歳向け



英語のリズムを
絵本で楽しもう！



海外絵本と英語教材輸入卸

Ehon House

株式会社岩崎書店 絵本の家事業部



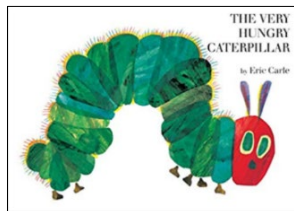
Rhymoe英語絵本特設サイト (絵本の家オンラインショップ)

にてすべての絵本が購入可能です。

<http://www.ehon-house.com/shopbrand/rhymoe>

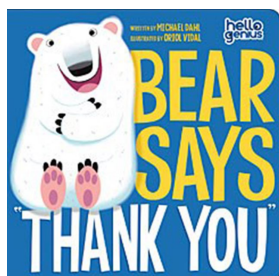
Rhymoe®の選ぶ英語絵本 (2-3歳向け)

2-3歳ではことばのまねっことができるようになってたり、手指が器用に動かせるようになってきたりします。そんな好奇心を満たすような、音の響きが心地よいもの、面白い仕掛けがある絵本を選びました。



The Very Hungry caterpillar (Eric Carle)

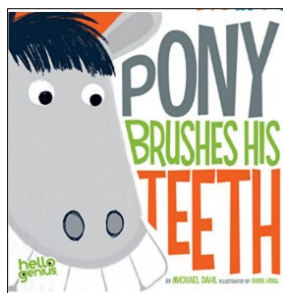
みんなおなじみの「はらぺこあおむし」は、2019年で発刊50周年を迎えました。英語の文章はシンプルだけど程よいリズムや繰り返しがあり、つつい引き込まれます。短いお話の中に曜日や数字、たくさんの食べ物も登場し、いろんな要素が詰まった、名作中の名作です。



Bear Says "Thank You" (Michael Dahl / Oriol Vidal)

クマくんがなにかを作っているみたい。ママに「紙がいるなあ」とか「えのぐがいるなあ」とつぶやきます。それに応えてママが“Here you go”と言うと、クマくんはにっこり笑って“Thank you!”そして作ったのは...

Hello Geniusシリーズには、他にもあいさつがテーマの可愛いお話がたくさんあります。



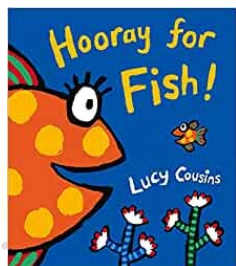
Pony brush his teeth (Michael Dahl / Oriol Vidal)

Hello Geniusシリーズには、上記のあいさつシリーズのほかに、歯みがき、ごはん、お風呂など、子どもの日常のルーティーンを取り扱ったユーモラスなお話もたくさんあります。ロバくんがパパといっしょに歯磨きするよ。パパみたいにかっこよく歯磨きしよう！繰り返しによる心地よいリズムを楽しみながら、英語で歯磨きする表現が自然と身につきます。



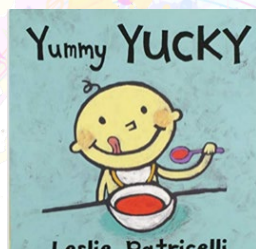
Splish splash ducky! (Lucy Cousins)

ねずみのメイジーちゃん(Maisy)の作者、ルーシー・カズンズによる作品です。雨がふってきた、遊びに行こう！アヒルの子がさまざまな友達と一緒に遊びます。リズムの良いフレーズと、あたたかみのあるタッチの絵が素敵な絵本です。みんな思わず、アヒルといっしょの“Quack!”と言ってみたくくなりますよ。



Hooray for Fish (Lucy Cousins)

小さなおさなくんが、海に住む魚の友達をたくさん紹介してくれます！しましま模様、水玉模様、ゾウみたいな魚、やせっぽちの魚... おもしろい魚がいっぱいいるね！でも小さなおさなくんが一番会いたいのは。。。



Yummy Yucky (Leslie Patricelli)

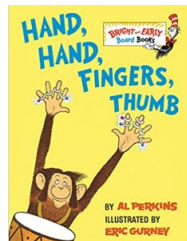
スープはおいしい。でも泥はまずい。ハンバーガーはおいしい。でも鼻くそはまずい。「おいしい」「まずい」が、ことば遊びと共にかわいいイラストで交互に出てきます。ユーモラスな展開は子どもも大好き！



Go Away, Big Green Monster! (Ed Emberley)

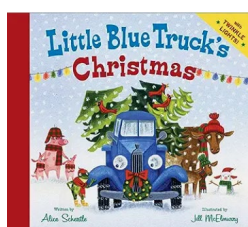
モンスターはどんな顔？黄色い目、長い緑の鼻...ページをめくると、モンスターの顔がだんだんと現れてきます。

でも！モンスターなんかこわくないぞ！“Go away!”と叫ぶのが子ども達のお気に入りになるでしょう。



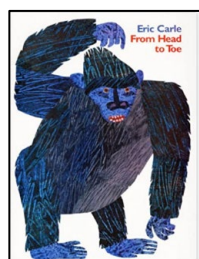
Hand Hand Fingers Thumb (Al Perkins)

リズムの良い絵本を紹介するとしたら、まずはこの絵本！サルが太鼓をたたく様子が、“Dum ditty Dum Ditty Dum Dum Dum”など素晴らしい言葉のリズムで表現されています。これを読んでいると、子どもも大人も思わず膝をたたいて一緒にリズムをたたきたくなる！



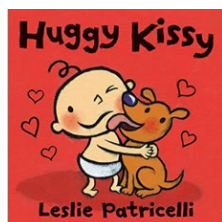
Little Blue truck's Christmas (Alice Schertle)

青いトラックのクリスマスのおしごとは、クリスマスツリーを友達のもとに運ぶこと。農場から5本の木を積んで、順に友達の家に届けに行きます。最後に残った一本はどこに持っていこう？ラストのページは子ども達がワクワクするサプライズ付きです！



From Head To Toe (Eric Carle)

たくさんの動物が出てきて、いろんな動きを見せてくれるよ。ペンギンやバッファローやネコ、ロバの動き、まねっこできるかな？邦題が「できたよできた」のこの絵本は、読んでいくうちに子ども達が“I can do it!”と生き生きと言うようになっていきます。身体も動かせて、楽しい絵本です。



Huggy Kissy (Leslie Patricelli)

バレンタインデーには、パパやママ、大好きな人に「だいすきだよ」と伝えましょう。そしてハグやキスをして、その思いを伝えましょう。おじいちゃんやワンちゃんとのキスなど、面白いのもたくさん登場して、思わずくすくす笑ってしまいます。最後のページでは、さらにいろんなハグやキスを紹介していますよ！



We're Going On An Egg Hunt (Laura Hughes)

ウサギたちがイースターエッグを探しに出かけます。絵本には仕掛けがいっぱい。仕掛けをめくって卵を探してみよう！でも道の途中には羊やハチが通せんぼ！さあ、どうやって行こうかな？そして最後には大きな卵が...とても有名な「きょうはみんなでクマがりだ」の歌をモチーフに、イースターによく行われる「エッグハント」が体験できる楽しい絵本です。

Rhymoe[®] が選ぶ英語絵本36冊
0-1歳向け / 2-3歳向け / 4-5歳向け

英語のリズムを
絵本で楽しもう！



海外絵本と英語教材輸入部

Ehon House

株式会社岩崎書店 絵本の家事業部

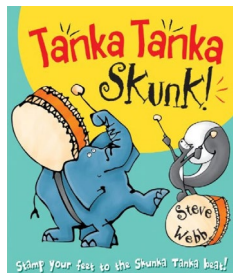


Rhymoe英語絵本特設サイト（絵本の家オンラインショップ）
にてすべての絵本が購入可能です。

<http://www.ehon-house.com/shopbrand/rhymoe>

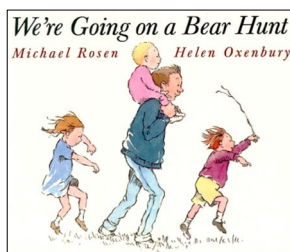
Rhymoeの選ぶ英語絵本 (4-5歳向け)

4-5歳ではまとまったフレーズが真似できるようになったり、より長い物語が楽しめるようになります。そのため全体が躍動感のあるリズムで彩られた絵本や、絵本との言葉のやり取りが楽しめる絵本を選びました。



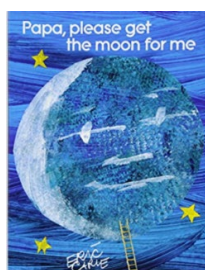
Tanka Tanka Skunk! (Steve Webb)

ゾウのTankaとスカunkがかなでるたいこのリズムで、友達の動物たちを次々に歌っていくよ。読み終わった後は”Tanka Tanka Skunk”が耳から離れない！口ずさんでいるうちに、だんだん英語の音やリズムの感覚がわかってくるよう。英語の音節感覚を養うのに最適な絵本です。



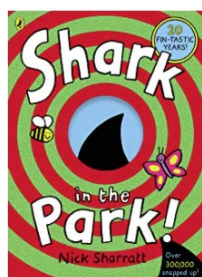
We're Going on a Bear Hunt (Micheal Rosen, Helen Oxenbury)

「きょうはみんなでクマがりだ」という邦題でも有名な絵本。アメリカの小学校ではドラマの教材としても使われています。家族でクマがり森に出かけます。草原を抜け、林を抜け、川を渡り...洞穴にたどり着いたそこには...クマがいた！読みながらハラハラすること間違いなしです。



Papa get the moon for me! (Eric Carle)

「はらぺこあおむし」で有名なエリック・カールの絵本です。女の子が月を眺めています。そしてお父さんにあの月をとってきてほしいと頼みます。お父さんは長い長い山を登り、高い高い山に登り、お月様に対面します。絵本の大きさからはみ出したダイナミックな絵と、静かでも英語のリズムが感じられる、不思議な絵本です。



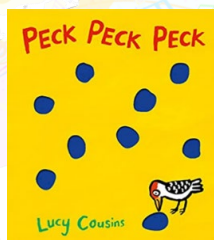
Shark in the park(Nick Sharratt)

男の子が公園で望遠鏡で遊んでいました。すると見えたのはサメのひれ！怖いけど、よく見てみよう。
読み進むうち、だんだん一緒に”There’s a shark in the park!”と言いたくなってきます。ドキドキする感じ、なんだろう？と考える創造力、やっぱり！という安ど感など、様々な魅力を感じる絵本です。



Shh we have a plan (Chris Haughton)

仲良し4人組が森できれいな鳥を発見！なんとかして捕まえようとしてますが、なかなか捕まえることができません。素直なチビちゃんが大きな声を出すたびに”Shh!”と周りの友達が言うところがとってもおかしい。さて最後に鳥を捕まえることができるでしょうか？



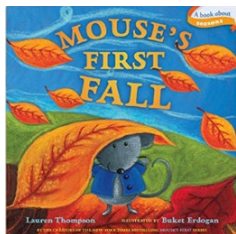
Peck Peck Peck (Lucy Cousins)

キツキくんが、パパに木のつつき方を教えてもらいました。そのあとあるおうちに「練習」にいきます。おうちの中にあるものを”Peck”と言いながら次々につつくキツキくん。絵本には本当に穴がたくさん開いているよ！キツキになったつもりでつついてみよう！



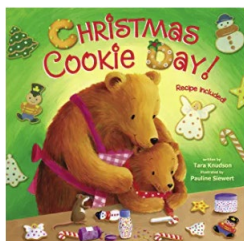
In the Night Kitchen (Maurice Sendak)

マックスがベッドで寝ていたら、大きな物音が。「うるさいぞ！」と叫んだらベッドから落っこちて...ついたところは、摩天楼のような台所！巨人のパン屋さんとミッキーが歌う歌が、とってもいいのです。「かいじゅうたちのいるところ」で有名なモーリスセンダックの三大絵本のひとつ、邦題は「まよなかのだいどころ」です。



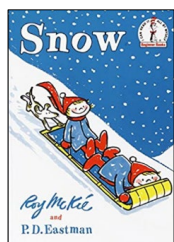
Mouse's first fall (Lauren Thompson)

子ネズミにとって初めての秋！きょうだいのMinkaといっしょに外に出かけます。外には落ち葉がいっぱい。子ネズミになった気分で、一緒に落ち葉で遊んでみよう！自分の体と同じくらいの大きさの葉っぱと遊ぶネズミたちがなんともかわいく、情緒豊かな語りが魅力的な絵本です。



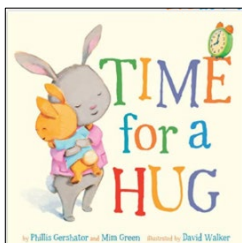
Christmas Cookie Day! (Tara Knudson)

クリスマスが来るよ。ママといっしょにクッキーを焼こう。生地を混ぜて、のばして...クリスマスツリーやベル、お星さまなど、いろんな形のクッキーをつくろう。焼いたらデコレーションして、みんなにプレゼントしよう！欧米の習慣の一つ、冬のクッキー作りを、リズムが心地よいポエムと可愛いイラストで垣間見ることができます。



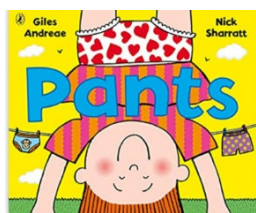
Snow (P.D. Eastman)

雪だ！雪が降ってきたよ！いっしょにあそぼう！友達2人と犬1匹が、そりに載ったり、雪合戦をしたり、雪だるまを作ったり。リズムの心地よいシンプルな文章。白・青・赤、黄色が鮮やかで、シンプルなイラストが素晴らしい、名作です。



Time for a hug (Phillis Gershator)

「だいすきぎゅぎゅぎゅ」の邦題で大人気の絵本です。親子で過ごす何気ない毎日。ご飯を食べて、身支度したら、ハグの時間！いっぱい遊んだ後も、ハグの時間！一日の中で何回も、思い出してはハグをして「だいすきだよ」って伝えあう姿は、とても微笑ましく、気持ちが温かくなりますね。



Pants (Nick Sharratt)

大きなパンツ、小さなパンツ、きついパンツに、ゆるいパンツ。ほかにもいろいろ変なパンツがいっぱい！心地よい言葉のリズムとともに、カラフルなイラストをゲラゲラ笑いながら楽しみましょう！



Rhymoe英語絵本特設サイト（絵本の家オンラインショップ）にてすべての絵本が購入可能です。